

# 自動走行ロボットを活用した新たな配送サービス 実現に向けた技術開発事業 令和2年度補正予算額 3.0億円

商務・サービスグループ  
物流企画室  
03-3501-0092

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症による影響で、物流のラストワンマイルにおいて、宅配要望の急増、配達員の感染等による影響により、ドライバー不足や配送の一時的な停滞が発生しています。
- こうした状況への対応策の一つとして、新型コロナウイルス感染症による影響が継続する中で、自動走行ロボットを活用した新たな配送サービスの早期実現が必要です。
- 本事業においては、自動走行ロボットの技術開発を集中的に行い、早期に実用化することで、有事においても物流サービスの維持を実現し、サプライチェーンの強靱化を図ります。

### 成果目標

- 本事業において開発した技術により安全安心な自動走行ロボットによる配送サービスの実現を目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

「遠隔・非対面・非接触」での配送サービスを実現するための自動走行ロボットの技術開発、実証データ分析

### ● 自律走行を実現するための技術開発

(想定される技術開発要素)

センサー技術  
車道では想定されない  
段差や看板等の検知

システム連携  
配送システムと自動走行ロボットの  
運行システムの連携



### ● 技術開発実証で得られたデータの分析

- ✓ 自律走行にかかる技術的データの収集・分析
- ✓ 住民や利用者等へのアンケートの実施による、社会受容性向上に向けた取組の在り方等の分析・検討 等

### 実現する配送サービスのイメージ



- 物流拠点からの自宅等へのECモール商品の配送
- 小売店舗から自宅・指定地等への日用品の配送
- 商業施設のバックヤード等における館内配送